

【既定】	防災会議運営等	予算額	7,733 千円
【既定】	防災施設整備	予算額	428,600 千円

### 事業の目的・概要

杉並区地域防災計画（震災編）をより実践的な計画とするため「首都直下地震等による東京の被害想定」を反映するなどの見直しを行い、防災・減災対策の推進を図ります。

震災救援所への非常用発電設備等の整備、災害備蓄倉庫の整備・拡張、学校防災井戸の整備を進めるなど、災害時拠点施設の防災機能の強化を図ります。

### 主な取組内容

#### ➤ 杉並区地域防災計画（震災編）の見直し

令和4年5月に東京都が公表した「首都直下地震等による東京の被害想定」の内、区内の被害が最大となる多摩東部直下地震に備えるため、各対策を改めて検討し、杉並区地域防災計画（震災編）の見直しを行います。

#### ➤ 災害時拠点施設の防災機能強化と災害備蓄倉庫の整備

震災救援所の機能を継続する旧杉並第四小学校跡地施設、旧杉並第八小学校跡地施設については、施設の整備工事に合わせて、非常用発電設備、災害用照明設備及びマンホールトイレ等を整備します。

また、発災後3日間を乗り切るための備蓄品を保管するため、馬橋公園拡張整備、旧杉並第八小学校跡地の公園整備等に合わせて災害備蓄倉庫を整備します。



マンホールトイレ設置

#### ➤ 学校防災井戸の修繕

災害時の生活用水の確保に向けて、令和4年度に実施した学校施設（跡地含む）66か所の防災井戸の点検結果を踏まえ、全ての震災救援所で災害時の生活用水を確保できるよう、学校防災井戸を修繕します。



学校防災井戸

#### ➤ 備蓄品の充実

ストレスの少ない避難所生活を送ることができるように、アレルギー対応の食糧の備蓄やメイク落とし、生理用品など女性の視点も取り入れた備蓄品の充実を図ります。